

『 ぱんだより 』

※パンダからのお便りという意味で「ぱんだより」と名付けました。
 スパークスのアジア地域における情報発信レポート

第63号(2010年9月30日)「中国市場動向2010年8月」



加速した元高

9月に入り、人民元の対ドルレートの上昇ペースが急に速まり、3週間で約1.8%上昇しました。

世界経済の行き先が不透明な中でアメリカは、人民元の上昇に向けた中国の取り組みは不十分であり、中国企業に世界貿易で不当に有利な立場を与えているとして中国を批判しています。(その他の主要国は同問題に対し、様子見への姿勢変化が見られます。)

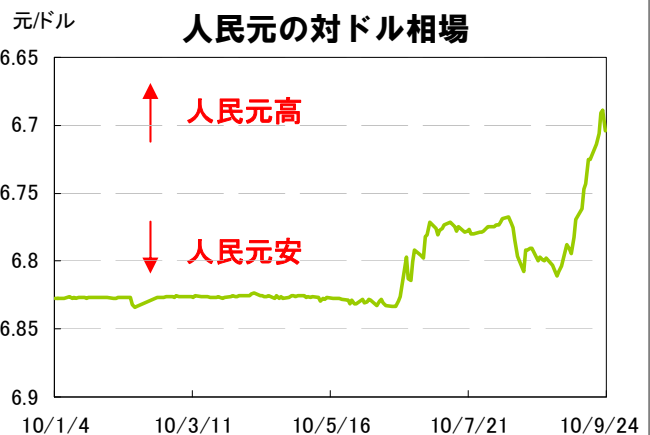
一方、中国の温家宝首相は米国の友好団体が主催したパーティーに出席した際に、現在の中国の経済構造の問題を強調し、短期間での大幅な人民元上昇を否定する姿勢を崩しませんでした。急激な人民元高による失業率の上昇など、社会問題を回避するのが狙いと見られています。

人民元の国際化が着々と

急激な人民元高は回避する姿勢ですが、一方で中国政府は人民元の国際化に向けた動きを着々と進めている模様です。

今年6月19日「元相場の弾力化」を表明してから、新興国通貨との交換解禁や人民元を手にした海外企業の人民元での運用先を提供するために、外資系銀行に中国国内での債券運用を解禁するなど、短期間で様々な緩和策が打ち出されました。

こういった一連の規制緩和は、単に対ドルの人民元が高くなること以上に、国際的に人民元が認められるという意義があり、今後も国際化に向けた布石が打たれることが予想されます。



出所: FACTSET

最近の人民元国際化に向けた主な動き

6月19日	「元相場の弾力化」を表明
6月22日	元建ての貿易決済の対象地域を全世界に拡大
8月17日	外資系銀行に中国国内での元建て債券の運用を解禁
8月19日	上海為替市場で元とマレーシア・リンギットの交換を解禁
9月8日	ロシア中銀がルーブルと人民元の交換解禁の方針を表明

出所: 各資料により、スパークスアセットマネジメントが作成



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。



『ぱんだより』

スパークスのアジア地域における情報発信レポート



急速に拡大する香港人民元債券市場

香港の人民元債券市場は2010年7月末で、トータルでまだ約288億元(約3700億円)と小さい市場ですが、ここ最近急速に拡大しつつあるようです。8月19日マクドナルド社が2013年償還で、クーポン3%の社債を2億元発行したとの発表がありました。マクドナルド社は香港で人民元建て債券を発行する初めての外資系企業で、今回調達した人民元は中国本土での店舗網の拡大に使われるようです。世界で3万店舗以上を持つマクドナルド社にとっても、中国は大変魅力的な市場です。1990年中国本土で1号店をオープンしてから、2009年までで1千店舗以上の展開に成功し、2010年も150~175店増やす予定です。

世界にはマクドナルド社のように、人民元で資金を調達し、すぐに中国本土で事業展開したいという企業が少なくないと思われます。今まで外資系企業にとって、人民元の資金調達のルートはありませんでしたが、香港の人民元債券市場が発展すれば、今後中国でビジネスを拡大したい企業にとって、資金調達の魅力的なツールとなるでしょう。

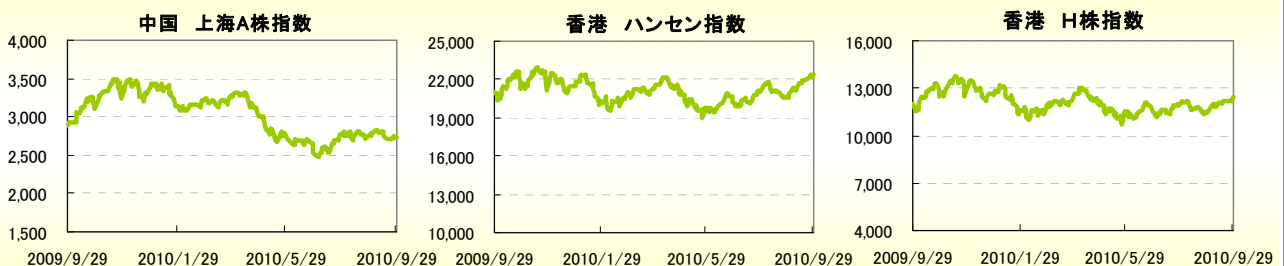
9月、中国銀行が同市場で三度目の債券を発行したこともあり、香港の人民元債券市場は益々拡大することが期待されます。

香港市場で取引されている人民元債券

名称	業種	格付 (S&P)	発行日	満期日	期間
中国国家開発銀行	特別銀行	A+	2009/8/20	2011/8/22	2年
HSBC Bank China Co Ltd	総合銀行		2009/9/14	2011/9/14	2年
中国輸出入銀行	政府機関	A+	2007/8/24	2010/8/24	3年
中国銀行 [バンク・オブ・チャイナ]	商業銀行	A-	2007/9/28	2010/9/28	3年
中国輸出入銀行	政府機関		2008/9/4	2011/9/4	3年
中国建設銀行	商業銀行	A-	2008/9/11	2010/9/11	2年
中国銀行 [バンク・オブ・チャイナ]	商業銀行	A-	2008/9/22	2010/9/22	2年
中国銀行 [バンク・オブ・チャイナ]	商業銀行	A-	2008/9/22	2011/9/22	3年
HSBC Bank China Co Ltd	総合銀行		2009/7/13	2011/7/13	2年
Bank of East Asia China Ltd	商業銀行	A-	2009/7/23	2011/7/23	2年
中国国家開発銀行	特別銀行		2009/8/20	2011/8/20	2年
China Government Bond	政府機関	A1 (Moody's)	2009/10/27	2012/10/27	3年
China Government Bond	政府機関	A1 (Moody's)	2009/10/27	2011/10/27	2年
China Government Bond	政府機関	A1 (Moody's)	2009/10/27	2014/10/27	5年
合和公路基建	公共事業		2010/7/13	2012/7/13	2年
CITIC Bank International Ltd	商業銀行		2010/7/20	2011/7/20	1年

出所: 海通アセットマネジメント 2010年7月末現在

《主要株価推移》 (各市場の直近1年間)



出所: FACTSET

(編集後記)ここで紹介させていただきましたマクドナルド社や中国銀行の人民元建て債券は、募集総額が数倍の倍率となるほどの好調ぶりであったようです。

* 上記はあくまでも当レポートの内容の理解を深めていただくためのご参考資料であり、特定の有価証券を推奨しているものではありません。

(告られタイ)



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。